

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（囑目）特選句

令和六年十月十四日

神野紗希先生 選

多賀城市観光協会会長賞

特選第一席 穂穂の伸び南門へ遡る

松島

上田由美子

多賀城市市長賞

特選第二席 我独り碑ひとつ秋夕焼

山形

高橋 浩一

宮城県俳句協会会長賞

特選第三席 碑は砂岩のいはほ秋麗

仙台

佐藤真智子

第三十一回「壺の碑」全国俳句大会（囑目）特選句

令和六年十月十四日

西山 睦先生 選

特選第一席	燕去る千三百年の地の起伏	石巻	土屋 遊螢
特選第二席	乱れ萩苦汁に固き墨の跡	多賀城	阿部 徳和
特選第三席	秋麗の町に津波の標あり	川越	小早川潤子

成田 一子先生 選

特選第一席	ふかふかと秋陽多賀城南門	東根	伊藤 幸
特選第二席	てのひらに一千年の秋の冷	仙台	坂内 佳禰
特選第三席	碑は砂岩のいはほ秋麗	仙台	佐藤真智子

高橋 健文先生 選

特選第一席	壺の碑の千古不易や秋ざくら	塩竈	及川 源作
特選第二席	秋天や朱色に溶けている歴史	利府	千葉 和珠
特選第三席	お明日昭和名残の赤蜻蛉	仙台	松本 芳

高野ムツ才先生 選

特選第一席	碑を建つる漢も破れ草の花	さいたま	山田 桂
特選第二席	秋麗の町に津波の標あり	川越	小早川潤子
特選第三席	いしぶみにさわる古代のつめたさだ	国分寺	神野 純